

高松市立前田小 学校だより Tel 847-6562	なろう, なろう あすなろう あすはヒノキになろう	あす なろ 羽 檜 立 檜	2017年 3月7日(火) No. 107 号
----------------------------------	---------------------------------	---------------------	-------------------------------

進学・進級に向けての準備を

教頭 松岡 貴之

3月を迎え、本年度も残すところ一月となりました。卒業式の練習も本格的に始まり、6年生とのお別れが迫っていることを実感する毎日です。子どもたち一人ひとりが、進学・進級に向けて、この1年間のまとめをしっかりと行い、そして新しい年度の準備をしてほしいと思います。保護者の皆様におかれましては、これからも子どもたちと向き合いながら、一つ上のステップに期待や希望を込めて、ご指導を続けていただければと思います。よろしくお祈りいたします。

学校関係者評価の結果のお知らせ

保護者の皆様や子どもたちからお聞きしましたアンケートの結果は、下欄の通りです。この結果を受けて、これからの改善策について職員や学校評議員の皆様と話し合いました。詳しくは、本校のホームページに載せてありますので、ぜひご覧ください。

<保護者アンケートの結果>

No.	評価項目	4	3	2	1
1	子どもは、学校に楽しく通っている。	59%	36%	5%	0%
2	子どもは、自分自身のことや友達のことを大切にする気持ちが育っている。	43%	48%	7%	1%
3	学校で取り組んでいる人権学習について子どもから聞いたたり、参観などで見たたりして知っている。	49%	46%	5%	1%
4	子どもの体力は、向上してきている。	46%	47%	8%	0%
5	学校便りや学習予定表等を読んでいる。	60%	33%	5%	1%
6	学校便りや学習予定表を読んだ後、内容について話題にしたことがある。	24%	50%	21%	5%
7	子どもは、家庭学習に進んで取り組んでいる。	20%	51%	26%	3%
8	子どもの基礎的な学力(漢字・計算・音読)が身に付いてきている。	29%	59%	12%	0%
9	教師は、資料や活動の仕方を工夫し、よく分かる授業をしている。	42%	55%	3%	0%
10	教師は、子どもの困ったときや悩みがあるときに、話を聞いてくれる。	45%	50%	5%	0%
11	教師は、子どもの良さや努力(がんばり)を大切にしている。	53%	44%	3%	0%

<児童アンケートの結果>

	評価項目	4	3	2	1
1	自分は、自分自身の良いところを知っている。	31%	43%	17%	8%
2	自分はやればできるということを感じたことがある。	45%	34%	15%	6%
3	まわりに、(わすれものをしたり、かかりのしごとがたくさんあったりして)困っている人がいたら助ける。	28%	42%	21%	9%
4	だれかがいじめ(いじわる)を受けていたら、止めるようにしている。	23%	42%	25%	1%
5	先生は、みんながよく分かるように工夫して、ていねいに授業をしてくれている。	65%	28%	5%	2%
6	先生は、悩みがあるときに、相談にのってくれる。	67%	23%	8%	2%

今月の「道徳の日」は…

道徳教育推進教員 辻 徹

3月の道徳の日は1日(火)です。この日には「6年生を送る会」が行われます。これは、各学年が6年生と一緒にゲームを行ったり、一人ひとりが心を込めて作ったプレゼントを渡したり…また、逆に6年生からはすてきな合奏のプレゼントがあったりと、これまで学校を良い方向へ引っ張ってきてくれた6年生への感謝とお祝いの気持ちがいっぱい詰まった集会です。このお便りをお読みになるのが当日だと思いますので、ご家庭で「どんな会だったの?」「楽しかった?」という質問から、6年生へのプレゼントやあと少しで卒業であることなどについて話題をふくらませ、子どもたちが6年生に対して、感謝とお祝いの気持ちをもって送り出せるようご協力下さい。

※ 今回の「道徳の日」で、高めたい道徳的価値は…「日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえる」です。また、「先生や学校の人々への敬愛を深め、みんなで協力し合いよりよい校風をつくる」こともねらっています。

一日の生活の中で大切にしたいもの・・・

この1年間、生徒指導だよりでお知らせしたことは、生活づくりの大切さ、非行防止、携帯電話やインターネットの使い方などです。

これまでの話をまとめると、子どもたちの生活の中で大切にしたいものが見えてきました。下に記述したことは、わたしたち人間が社会の中で暮らしていくための基礎になるものです。すぐには効果がでなくとも長く続けることで、豊かな心が育ち、学習効果が高まるとともに非行防止にも役立ちます。

- ・ 生活リズム（早寝・早起き・朝ご飯）をきちんとしよう。
- ・ バランスのよい食事をしよう。
- ・ あいさつや返事，そして，服装をきちんとしよう。
- ・ 褒め言葉を大切に上手な言葉かけをしよう。



毎日の何気ない生活がとても大切だということをご理解いただき、保護者の皆様のご協力をいただけるよう、来年度も掲載させていただきます。よろしくお祈りします。

人権教育シリーズ④ 「人権感覚を磨く」

児童・進路支援担当 入谷 祐司

①女性の人権②子どもの人権③高齢者の人権④障害のある人の人権⑤同和問題⑥アイヌの人々の人権⑦外国人の人権⑧ HIV 感染者・ハンセン病患者（回復者）等の人権⑨刑を終えて出所した人の人権⑩インターネットによる人権侵害など、わたしたちの身の回りには、様々な人権問題が存在しています。これらの人権問題を他人事のように考えたり，自分には関係ないととらえたりしてはいないでしょうか。今は関係ないと思っても，これらの問題といつどこで出会うかわかりません。その時，どのような態度がとれるかが重要になってきます。

誰もが，差別する心や偏見の目をもって生まれるわけではありません。しかし，世の中の偏見に惑わされたり，それに負けてしまう弱い心をもっていたりするために，悲しい思いをしなければならない人ができてしまいます。そうならないためには，正しい知識を得ることや身の回りにある人権問題や自分自身のことについて振り返る機会をもつことで人権感覚を磨いていくことが大切になると思います。



教育相談だより

「考えて行動する」機会を

教育相談担当 中井世子

ある小学校の遠足で、遊園地に行って「好きな乗り物に乗っていい」と自由行動にしたところ、解散場所から動けない子どもがいて驚いたという話がありました。その子どもたちは遊びたくなかったわけではなく、何から遊んでいいか指示がなかったため、どう行動すればよいか分からなかったということです。これは、極端な例と思うかもしれませんが、指示されたことはその通りにできるが、指示がないと何もできない子どもが増えています。

日頃細かいことまで、子どもの行動に、注意や指示を与えすぎているのでしょうか。子どもは、何か問題にぶつかったときに、自分なりに考えて行動するという体験を重ねるうちに、自主性や判断力を身につけるものです。子どもに考えさせる機会をできるだけ与えましょう。

宿題や遊びなど、「～をきなさい。」ではなく、「何から先にする？」と、優先順位を子どもに考えさせることも、子どもの自主性を育てる訓練になります。

